

LGBT 当事者の意識調査 ～いじめ問題と職場環境等の課題～

宝塚大学看護学部 教授 日高 庸晴

問い合わせ先：hidaka-office@takara-univ.ac.jp

電話：06-6376-0853（代）

■■ 調査概要 ■■

- 調査タイトル：LGBT当事者の意識調査「REACH Online 2016 for Sexual Minorities」
- 調査対象：LGBTをはじめとするセクシュアルマイノリティ当事者
- 調査期間：2016年7月15日～10月31日
- 調査方法：オンライン調査
(LGBTをはじめとするセクシュアルマイノリティ当事者が利用するサイトやアプリにバナー広告を掲出、SNSを通じて研究参加者を募った)
- 有効回答数：15,141件（海外在住者77件含む）
本稿では国内在住者のみ**15,064件**の分析結果を報告する。
(内訳) 10代：4.8%、20代：37.6%、30代：29.4%、40代：21.7%、50歳以上：6.5%
* アジア地域で最大規模
- 実施機関：宝塚大学看護学部日高研究室

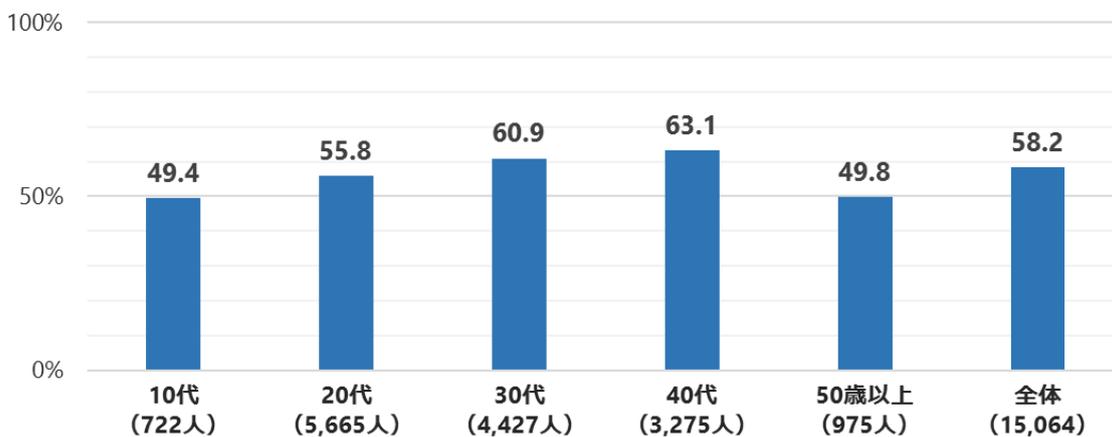
■ 学校生活（小・中・高校）における「いじめ」は全体の約6割が経験

■ 10代で約5割

■ 年代別では40代が一番高い結果に

小・中・高校の学校生活におけるいじめ被害の経験を聞いたところ、全体の約6割が経験していることがわかりました。年代別にみると、40代が一番多く63.1%でした。

【いじめ被害経験がある】



*いじめ被害の内容

いじめ被害経験がある者のうち、「ホモ・おかま・おとこおんな」などの言葉によるいじめ被害率は63.8%、服を脱がされるいじめ被害率は18.3%でした。

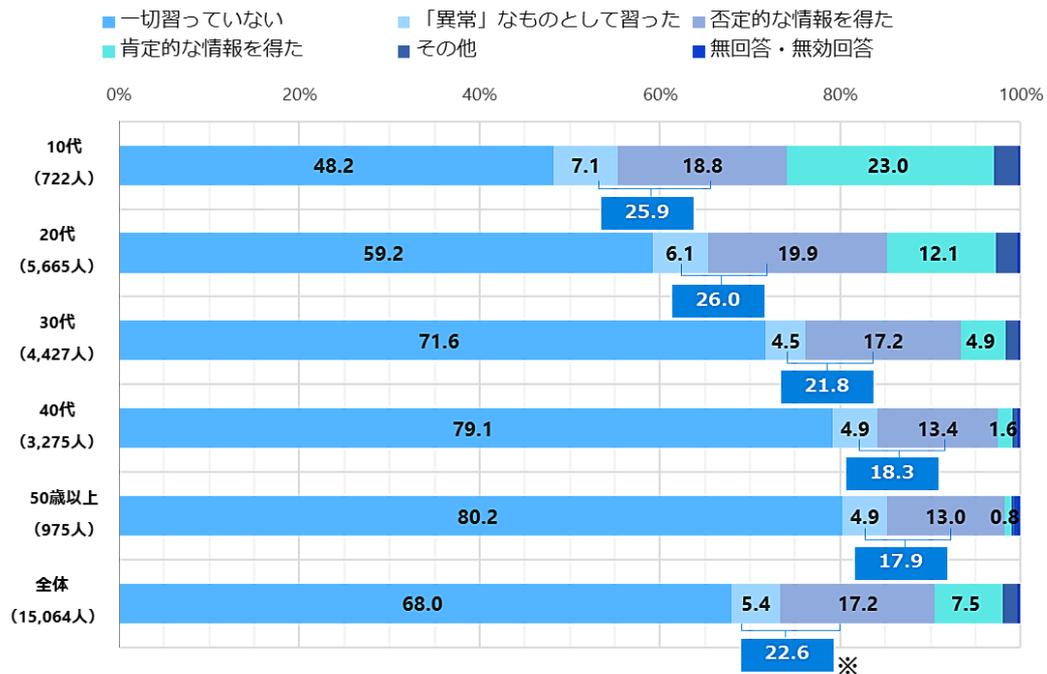
■ 学校教育における「同性愛について」の知識

■ 「一切習っていない」は全体の約7割

■ 「異常なものとして習った」「否定的な情報を得た」の回答も2割超あり

学校教育で同性愛についての知識を習ったかどうか聞いたところ、7割近くが「一切習っていない」と回答。年代が高くなるにつれて「一切習っていない」の回答率が高くなる傾向にありました。他の年代に比較すると10代は「一切習っていない」が48.2%と低かった一方で、「異常なものとして習った」「否定的な情報を得た」が合わせて25.9%という結果でした。

【学校教育における同性愛について】



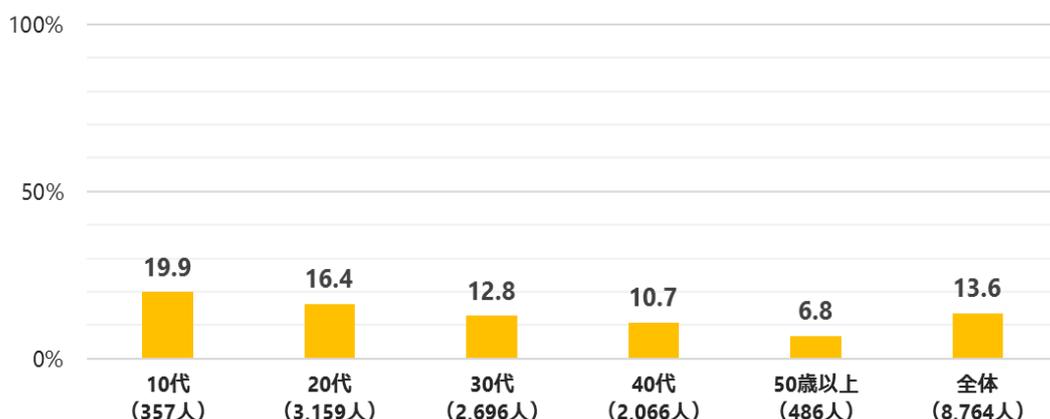
■ 先生がいじめの解決に役立ったか

■ 「役立った」は全体の13.6%

■ 年代別にみると10代が19.9%、年代を追うごとに減って50歳以上だと6.8%に

「先生がいじめの解決に役に立った」と回答したのは全体の13.6%。年代別では10代が19.9%で、年代が高くなるごとに減っていき、50歳以上では6.8%という結果でした。

【いじめにあっていた時、先生はいじめの解決に役にたってくれたと思うか】



■カミングアウトの状況

- 親へのカミングアウトは 22%
- 職場や学校でのカミングアウトは 27.6%
- 都市部の方がより高い傾向に

親へのカミングアウトの状況を聞いたところ、全体の 22%がカミングアウトしていることが分かりました。地域別に見ると、都市部の方がカミングアウトしている率が高い傾向にあり、それ以外の地域では低くなる傾向にありました。一番高かったのは東京の 24.7%、一番低かったのは福岡県の 16.2%でした。

続いて職場や学校でのカミングアウトの状況は、全体の 27.6%がカミングアウトしていることが分かりました。地域別で見ると、親へのカミングアウト同様に、都市部の方がカミングアウトしている率が高く、それ以外の地域は低くなる傾向がありました。また職場や学校でのカミングアウトと比較して、親へのカミングアウトの方がよりハードルが高い様子も伺えました。

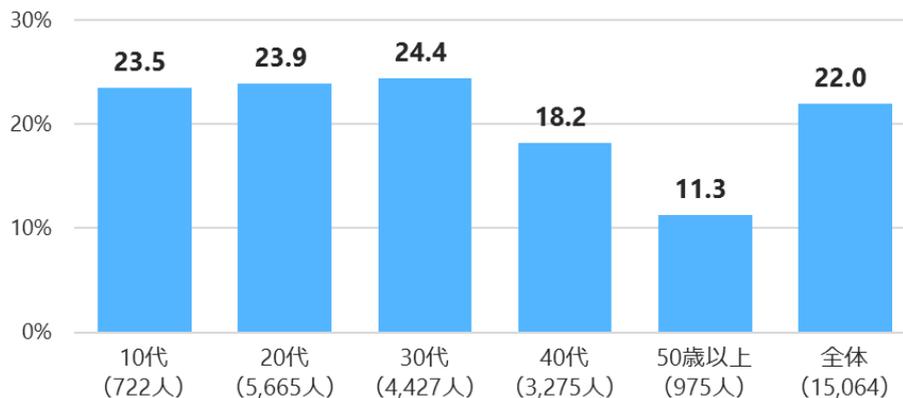
親へのカミングアウト状況（地域別）

	度数	%
北海道（644人）	127	19.7
東北（726人）	134	18.5
関東（含山梨）（3,333人）	756	22.7
東京都（3,690人）	913	24.7
北陸信越（461人）	77	16.7
東海（600人）	129	21.5
愛知県（860人）	208	24.2
近畿（1,002人）	214	21.4
大阪府（1,377人）	322	23.4
中四国（806人）	159	19.7
福岡県（637人）	103	16.2
九州（631人）	106	16.8
沖縄県（297人）	61	20.5
合計（15,064人）	3309	22.0

職場や学校でのカミングアウト状況（地域別）

	度数	%
北海道（644人）	149	23.1
東北（726人）	184	25.3
関東（含山梨）（3,333人）	916	27.5
東京都（3,690人）	1138	30.8
北陸信越（461人）	94	20.4
東海（600人）	144	24.0
愛知県（860人）	232	27.0
近畿（1,002人）	267	26.6
大阪府（1,377人）	426	30.9
中四国（806人）	201	24.9
福岡県（637人）	154	24.2
九州（631人）	161	25.5
沖縄県（297人）	88	29.6
合計（15,064人）	4154	27.6

親へのカミングアウト状況（年齢階級別）



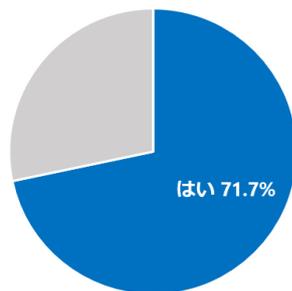
■職場・学校の環境

- 7割以上が「差別的な発言」を経験
- LGBTフレンドリーと感じるのは約3割
- 「差別的発言あり」は地域差はあまりなく各地で高い傾向あり

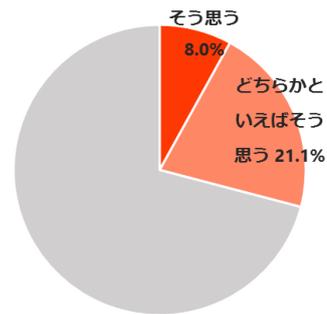
職場や学校で差別的な発言を経験した人は7割以上で、地域差はあまりなくいずれの地域も高いことがわかりました。一方で、職場や学校がLGBTフレンドリーと感じている人は約3割にとどまりました。

【職場や学校での差別的発言の経験とフレンドリー具合】

職場や学校で差別的な発言



職場や学校フレンドリー

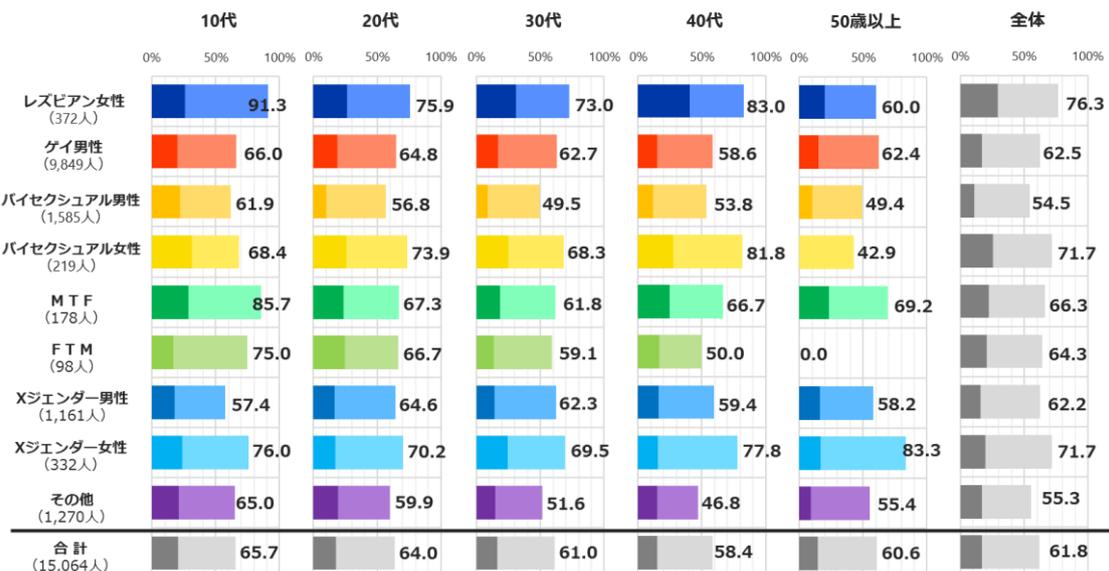


■LGBTフレンドリー企業の商品購買意欲

- 6割超が「多少高くても買う」「同じ値段なら買う」
- レズビアン女性がより購買意欲が高い傾向にあり

「セクシュアルマイノリティにフレンドリーな会社があれば、同等の他社商品よりもその会社の商品を積極的に買うと思いますか？」の質問には、全体の61.8%が「多少高くても買う」「同じ値段なら買う」と回答しました。アイデンティティ別でみると、レズビアン女性が他に比較してその傾向が高い結果となりました。

【セクシュアルマイノリティにフレンドリーな会社の商品購買意欲】

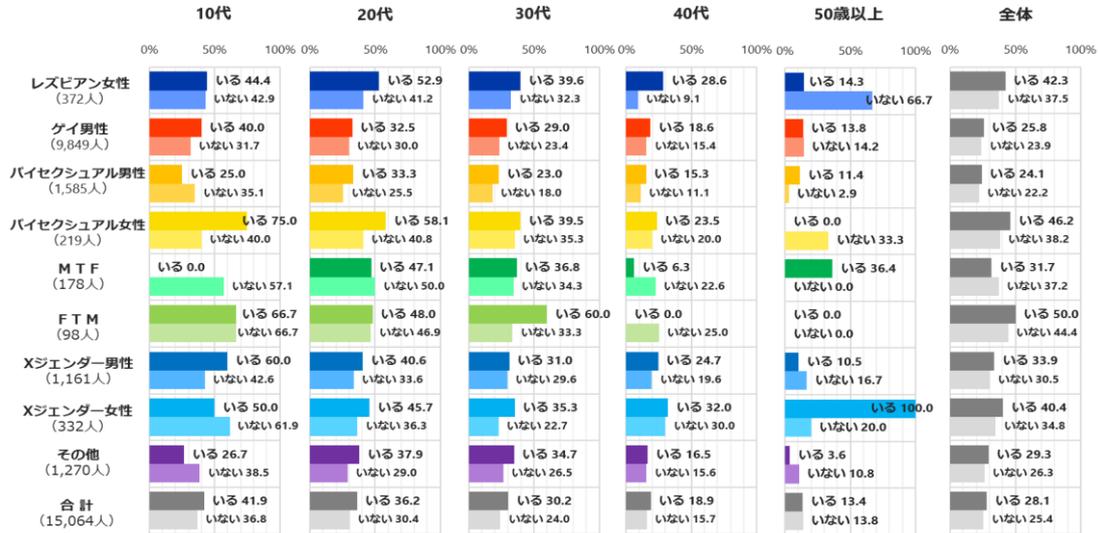


多少高くても買う+同じ値段なら買う

■ 結婚パーティーや披露宴をしたい

■ 若年層ほど結婚パーティーや披露宴の開催希望率が高い

パートナーがいるレズビアン（10代で44.4%、20代で52.9%）、バイセクシュアル女性（10代で75%、20代で58.1%）、FTM（10代で66.7%、20代で48.0%、30代で60%）、Xジェンダー男性（10代で60%）、Xジェンダー女性（10代で50%）が開催希望を持っていることがわかりました。



■ 生命保険

■ 「生命保険会社が同性パートナー対応をしている」ことに対する認知は約 25%

■ 現在付きあっている方を生命保険の受取人にしたいは約 4 割

「生命保険会社が同性パートナーの対応をしていることを知っている」と回答したのは全体の 24.8%であり、「パートナー・恋人がいる」と回答した方のうち、「付きあっている方を生命保険の受取人に指定したい」と回答したのは 39.4%でした。

